

経営比較分析表（平成29年度決算）

富山県富山市 富山市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透 剖方	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
418,045	41,606	非該当	7 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

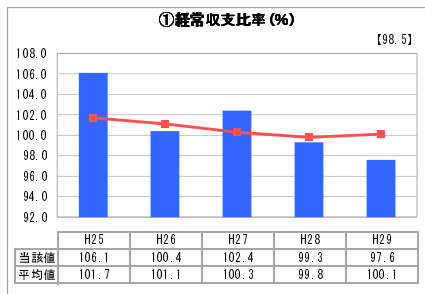
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
539	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
50	6	595
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
503	-	503

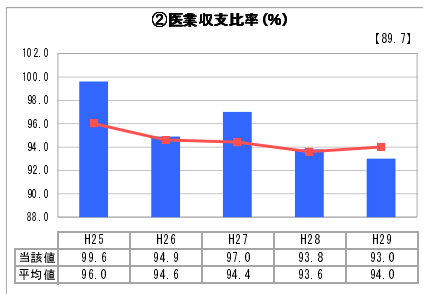
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 平成29年度全国平均

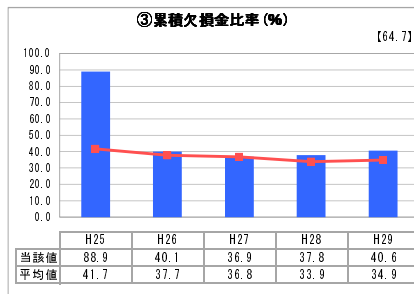
1. 経営の健全性・効率性



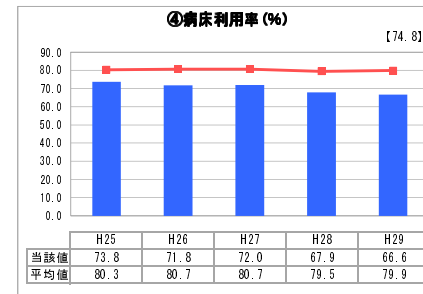
「経常損益」



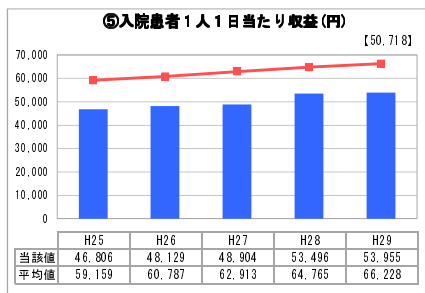
「医療損益」



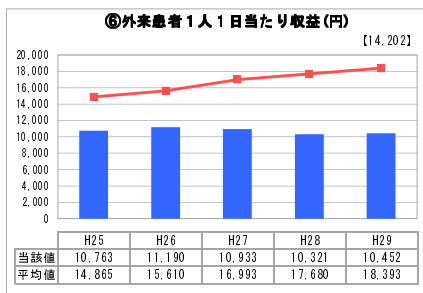
「累積欠損」



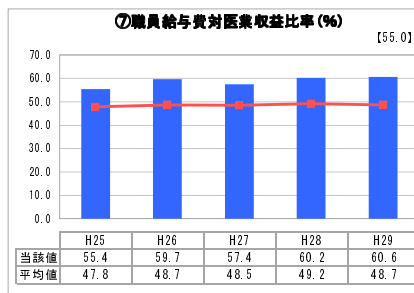
「施設の効率的性」



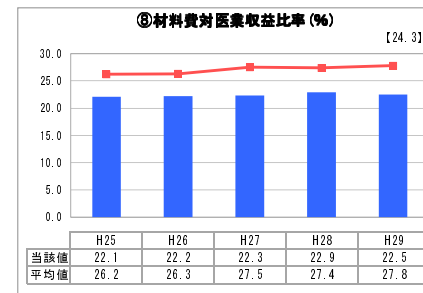
「収益の効率的性①」



「収益の効率的性②」

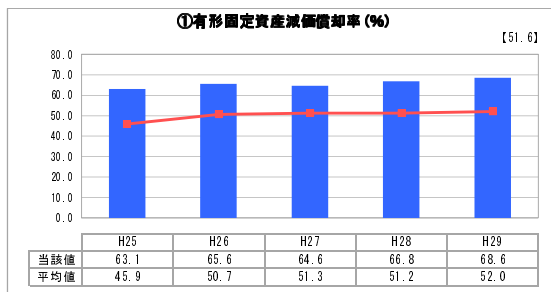


「費用の効率的性①」

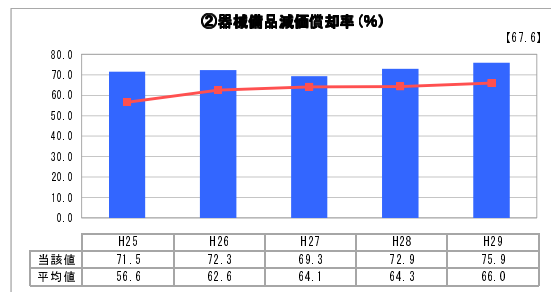


「費用の効率的性②」

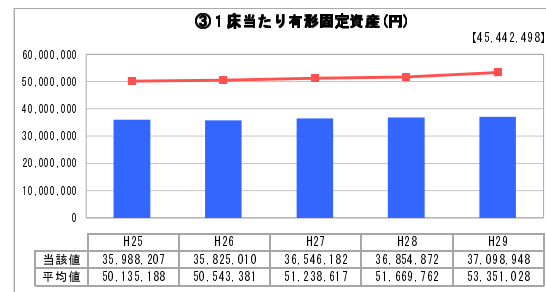
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

高度急性期及び急性期医療を担う中核病院として、高度で専門的な医療を提供することに加え、公的病院として、大規模災害時に迅速に傷病者を受け入れる役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性については、医療収支比率及び累積欠損金比率については類似病院平均値に近い数値であるが、経常収支比率及び病床利用率については低い値となっている。これは、平成28年度の診療報酬改定の影響による平均在院日数の短縮傾向が続いており、延べ入院患者が減少したことなどによるものである。今後は、救急・紹介患者を円滑に受け入れるなど、入院患者数を増やすための積極的な取り組みを行っていく。効率性については、後発医薬品の採用拡大に取り組んだことなどから、材料費対医療収益比率は低く抑えられているものの、入院・外来の患者1人1日当たりの収益が類似病院平均値と比べて低く、また、職員給与費対医療収益比率も60%を超えていることから、収益増加に向けた取り組みが必要となる。

2. 老朽化の状況について

減価償却率が類似病院平均値と比べて高く、老朽化が進んでいると言える。実際に、建設から34年が経過し、施設・設備等の老朽化が著しくなっていることから、医療の質の向上や老朽化への対応を目的として、これまで病棟改修や外来改修を行ってきた。今後も、病院機能を維持・向上させるための改修工事や設備機器の更新等について、病院のビジョンや中長期的な経営状況、費用対効果等を考慮しながら検討していく予定である。

全体総括

H29年度においては289百万円の赤字となり、2年連続の経常損失を計上した。今後は、いかに新規患者を受け入れて入院患者数を増やし、増収・経営安定につなげるかが課題である。また、当院では平成29年度末に第4期経営改善計画を策定しており、この計画に定めた施策を着実に遂行することで、適正な利益を確保していくとともに、富山医療圏における急性期病院として、医療体制のさらなる強化を図り、質の高い医療の提供に努めていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。